

都留 まちかど 今昔

まちは変わっていきます。人もまた、
変わります。過ぎ去りし日の写真と、
現在の写真を並べてみましょう。
何かが、見えるかもしれません。



昭和2年(1927)



平成23年(2011)

両時代の時間経過は、

84年。

第12回・「佐伯橋」

今回は、田原地区と十日市場地区を結ぶ、佐伯橋です。

この橋は、現在の国道139号線の新しい橋が架けられるまでの間、国道として使われていました。

古い写真は「渡り初め」を撮影したもので、多くの見物客が集まっていたのがわかります。当時は、谷村町と東桂村を結ぶ唯一の貴重な橋だったため、多くの方が集まったのでした。

橋の向こうには岩肌が見えます。この場所の岸壁は、岩が柱のようになつて何本も重なった、「柱状節理」という形をしており、景観が美しいことでも昔から有名でした。現在も現地にいけば、この景観を見ることが出来ます。

また、この橋から見える田原の滝は、江戸の頃に谷村に逗留したという俳聖・松尾芭蕉が俳句を詠んだと伝えられており、現在は橋のたもとに小さな公園が整備されています。

ここで、芭蕉が詠んだといわれる俳句を紹介しましょう。

「勢いあり 氷消えては 瀧津魚」

変わらないようでいて、こんなにも違う私たちの身近な風景。時間の流れを感じませんか。

都留市役所開庁日のご案内

月曜日～金曜日 8:30～17:15(祝日は閉庁)

水曜日は市民生活課・税務課のみ 19:00まで開庁

広告掲載欄

広告掲載欄